



明治2年に開院した神戸病院



昭和5年 病院本館  
昭和41年 第一病棟 (左11階建て)



昭和33年12月 医学部本館



神戸市立  
湊翔楠中学校

楠地区航空写真 2014.6.25撮影  
神戸大学医学部附属地域医療活性化センター (左下)

目次	ページ
平成28年度一般社団法人神緑会臨時(社員)総会並びに学術講演会プログラム	3
男女共同参画、女性医師支援活動 東灘区女性医師の会 ヴィーナス・ネットワーク 宮地 千尋	5
第10回兵庫県医師会男女共同参画フォーラム 千谷 容子	6
社会福祉法人恩賜財団済生会大阪府済生会 中津病院 創立100周年を迎えて 川嶋成乃亮	9
2016年度大倉山祭開催報告 *江口茉奈美	12
「大倉山祭医療シンポジウム」を開催しました *大木元彩夏	14
第68回西日本医科学学生総合体育大会(西医体)成績表	15
故平井毓太郎博士「平井の梅」記念碑 移設披露式について 事務局	16
寮歌のメロディーについて 下奥 仁	17
寮歌との出会い 小島 正守	18

目次	ページ
第4回 YIA (学内若手教員、大学院生などのポスター形式の発表会) と表彰	19
ホームcomingデーと神田知二郎石碑の修復	20
厚生労働省関係者による講演会プログラム	21
放射線の健康管理・健康不安対策 前田 光哉	22
75・150周年記念事業の進捗状況と新しい寄付条件のご紹介	24
平成28年度 広報・Web 会費委員会議事概要	27
広報・WEB 委員会の答申を受けて当面の神緑会の運営 理事会	27
一般社団法人神緑会 寄附金等取扱規則 理事会	28
英語サロンの開催 楠原仙太郎	30
「先輩と語る会」の活動再開に向けて —小川達五郎氏次男 小川昌三氏 (34年卒) の 「ハワイ他のアメリカでの経験」— 理事会	30
支部長会開催報告・編集後記	32

\*学生

私たち神鋼ケアライフは、神戸に根ざして3つのホームを運営。  
積み重ねてきた実績を活かして、安心・安全・快適な暮らしをサポートしています。



介護付有料老人ホーム

## ドマーニ神戸

(一般型特定施設入居者生活介護 / 入居時自立・要支援・要介護)



気候が温暖な、  
神戸市垂水区に立地。  
閑静でありながら便利な、  
住むのにちょうどいい環境です。

**0120(78)6665**

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示】●施設の類型 / 介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態 / 利用権方式 ●利用料の支払い方式 / 一部前払い・一部月払い方式(一般居室)・選択方式(介護居室) ●入居時 / 入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険 / 兵庫県指定介護保険特定施設 兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分 / 全室個室 ●介護にかかわる職員体制 / 1.5:1以上。  
【施設概要】●所在地 / 神戸市垂水区本多間3丁目1番37号 ●交通 / JR「舞子」駅よりバス15分「舞子高校前」下車、徒歩4分(約320m)市営地下鉄「学園都市」駅からバス8分「舞子高校前」下車、徒歩2分(約130m) ●構造規模 / 鉄骨(一部)鉄筋コンクリート造 地上7階・地下1階の1棟、鉄筋コンクリート造 地上10階の1棟 ●居室数 / 一般居室195戸、介護居室58室 ●土地建物の権利形態 / 土地・建物とも自社所有



平成20年4月撮影



介護付有料老人ホーム

## エレガノー摩耶

(一般型特定施設入居者生活介護 / 入居時自立・要支援・要介護)



街全体がバリアフリーの  
神戸市灘区「HAT神戸」に立地。  
隣接するクラブハウスで、  
他世代との交流も楽しめます。

**0120(01)4165**

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示】●類型 / 介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態 / 利用権方式 ●利用料の支払い方式 / 一部前払い・一部月払い方式(一般居室)・選択方式(介護居室) ●入居時 / 入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険 / 兵庫県指定介護保険特定施設 兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分 / 全室個室 ●介護にかかわる職員体制 / 1.5:1以上。  
【施設概要】●所在地 / 神戸市灘区摩耶海岸1-3-10 ●交通 / JR「灘」駅より徒歩13分(約1km)、阪神「岩屋」駅より徒歩10分(約800m) ●構造・規模 / 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上14階建(ケアセンター東館5階) ●総居室数 / 一般居室134戸・介護居室96室 ●土地建物の権利形態 / 土地・建物とも自社所有



平成23年5月撮影

介護付有料老人ホーム

## エレガノー甲南

(一般型特定施設入居者生活介護 / 入居時自立・要支援・要介護)



六甲の山並みに抱かれた住みよい町、  
神戸市東灘区に立地。  
自立された方も、介護が必要な方も、  
生活の状態に合わせてきめ細かく対応します。

**0120(65)8208**

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示事項】●類型 / 介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態 / 利用権方式 ●利用料の支払方法 / 一部前払い・一部月払い方式(一般居室)・選択方式(介護居室) ●入居時の要件 / 入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険 / 兵庫県指定介護保険特定施設 兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分 / 全室個室 ●介護にかかわる職員体制 / 1.5:1以上。  
【施設概要】●所在地 / 神戸市東灘区本山南町3-3-1 ●交通 / 阪急神戸線「岡本」駅より徒歩15分(約1,180m)、JR神戸線「津津本」駅より徒歩12分(約930m)、阪神本線「青木」駅より徒歩9分(約700m) ●構造・規模 / 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上14階建(ケアセンター地上6階) ●総居室数 / 一般居室105戸・介護居室101室 ●土地建物の権利形態 / 土地は普通借地(平成16年契約、所有者は神鋼不動産(株))、建物は自社所有



平成18年4月撮影

■お問い合わせ・資料請求等は、各フリーコールをご利用ください。

【経営・運営主体】(公社)全国有料老人ホーム協会会員・(一社)全国特定施設事業者協議会会員



〒651-0073 神戸市中央区協浜海岸1丁目5番1号(国際健康開発センター3階)  
TEL.(078)261-6665

[ホームページ] <http://www.s-carelife.co.jp>

## 平成28年度 一般社団法人神緑会 臨時(社員)総会並びに学術講演会プログラム

平成29年1月21日(土) 於・神戸大学医学部会館(シスメックスホール)

- ☆開会の挨拶 (15:00~15:40)
- ☆物故会員への黙祷  
1. 委員会報告等  
2. 審議事項
- ☆新任教授・栄誉者紹介 (15:40~16:00)  
〈休憩〉
- ☆新春学術講演会  
Ⅰ. 講演『神戸大学大学院医学研究科の現況と展望2017』 (16:05~16:35)  
的崎 尚 神戸大学医学部研究科 研究科長(昭和56年卒)
- Ⅱ. 講演『神戸大学医学部附属病院の進む道』 (16:35~17:05)  
藤澤 正人 神戸大学医学部附属病院 病院長(昭和59年卒)
- Ⅲ. 特別講演『神戸大学支援協議会(神大六甲会)の設立に向けて』 (17:10~17:40)  
内田 一徳 神戸大学 副学長/理事(京都大学卒業 昭和55年卒)  
~各講演後質疑応答~
- ☆閉会の挨拶 (17:45)
- ☆情報交換会(於:神緑会館多目的ホール) (18:00~20:00)

## 新春学術講演会 プロフィールと講演要旨

### ■講演Ⅰ



#### 的崎 尚(まどぎ たかし)

神戸大学大学院医学研究科 研究科長

略歴 1957年3月16日生まれ

1981年3月31日 神戸大学医学部卒業  
1981年7月1日 神戸大学医学部附属病院医員(研修医)  
1988年3月31日 神戸大学大学院医学研究科博士課程卒業  
1988年6月1日 米国ミシガン大学医学部生理学教室研究員  
1993年2月1日 神戸大学助手医学部附属病院(第二内科学講座)  
1998年10月1日 大阪大学助手医学部(分子生理化学講座)  
1999年4月1日 大阪大学助手大学院医学系研究科(生化学・分子生物学講座)  
2000年4月1日 大阪大学助教授大学院医学系研究科(生化学・分子生物学講座)  
2000年11月1日 群馬大学教授生体調節研究所(附属生理活性物質センター/バイオシグナル分野)  
2010年4月1日 神戸大学教授大学院医学研究科(生化学・分子生物学講座シグナル統合学分野)  
2016年4月1日 神戸大学大学院医学研究科医学研究科長  
神戸大学医学部医学部長

現在に至る

資格 1981年5月30日 医師免許証取得  
1988年3月31日 医学博士授与

賞罰 1992年4月10日 日本消化器病学会奨励賞受賞

所属学会 日本生化学会(評議員)、日本癌学会(評議員)、日本細胞生物学会(評議員)、  
米国癌学会(正会員)、日本分子生物学会、日本内科学会、他

### 演題「神戸大学大学院医学研究科の現況と展望2017」

講演要旨: 神戸大学では、平成28年度より国立大学法人として第3期中期目標期間となり、また武田新学長が就任されて研究大学としての方向性をより明確に打ち出すなど新たな局面に入っております。そのような動きの中、昨年4月に医学研究科長・医学部長に就任して以来の医学研究科の現況をご報告しながら、今後の研究科の方向性と展望について述べたいと思います。

## ■講演Ⅱ



### 藤澤 正 人 (ふじさわ まさと)

神戸大学医学部附属病院長

略歴 1984年 神戸大学医学部卒業  
 1989年 神戸大学大学院医学研究科修了、医学博士取得  
 1990年 The Population Council, Center for Biomedical Research, Research fellow  
 1992年 神戸大学泌尿器科助手  
 2001年 神戸大学泌尿器科講師  
 2002年 川崎医科大学泌尿器科教授  
 2005年 神戸大学大学院腎泌尿器科学分野教授  
 2008年 神戸大学医学部附属病院副院長  
 2014年 神戸大学医学部附属病院長

### 演題「神戸大学医学部附属病院の進む道」

講演要旨：国立大学改革が進む中、附属病院も厳しい状況におかれています。運営交付金の削減と2年毎の診療報酬改定、消費税の増税、人事院勧告による給与引き上げ等病院運営にとっては常に臨機応変の対応を迫られており、息を抜けない状況です。このような中、研究大学としての神戸大学を支えていくために病院としても診療・研究・教育を強化し、新規診断・治療法の開発・導入、革新的医療機器の開発等を積極的に進め先進的医療を提供していくべきです。研究の推進力である臨床研究推進センターも臨床研究中核病院の承認に向けて整備中です。さらには、狭隘なる楠地区に加え新たな診療・研究・教育拠点としてポートアイランド地区に国際がん医療・研究センターを平成29年4月に開設予定であり、本院との連携によりがんに対する新しい外科的治療を推し進めるとともに、新規医療機器の研究・開発ならびに国際的研究・教育の拠点を形成します。また、新たな専門医制度のもとではより大学病院が関連病院の核となってリードし、地域で貢献できる未来の優秀な高度医療専門医の育成に努めるべきです。一方、地域の病院においては可能なところは機能統合し、総合的な魅力のある力強い関連病院づくりがより大切になってくると思われまます。

引き続き、神緑会会員の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

## ■特別講演



### 内 田 一 徳 (うちだ かずのり)

神戸大学理事・副学長（広報・社会連携担当）

略歴 昭和25年2月 京都市生まれ  
 昭和47年3月 京都大学農学部農業工学科 卒業  
 昭和49年3月 京都大学大学院農学研究科修士課程農業工学専攻 修了  
 昭和52年5月 京都大学農学部助手  
 昭和56年8月 同大農学部講師  
 昭和59年4月 同大農学部助教授  
 平成6年10月 神戸大学農学部助教授  
 平成8年8月 同大農学部教授  
 平成17年2月 同大農学部評議員（副学部長）  
 平成21年4月 同大大学院農学研究科長（農学部長）  
 平成25年4月 同大理事・副学長（産官学社会連携・広報担当）  
 専門 農業土木学（土地環境学）

### 演題「神戸大学支援協議会（神大六甲会）の設立に向けて」

講演要旨：武田ビジョン「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学へー世界ランキング100位以内・国内ランキング5位以内ー」を実現するためには、教職員だけでなく学生や卒業生を含めた大学全体の底上げが必要です。優秀な学生を集め、優秀な人材を育成して、優れた地位を得ることにより、神戸大学全体の底上げを図りたいと考えます。この目的を達成するために、同窓会を統括する学友会や育友会（保護者会）、教職員や学生・卒業生を含めた「オール神戸大学体制」である支援協議会を構築し、将来的には「慶応三田会」に勝るとも劣らない「神大六甲会」を構築したいと思います。具体的な支援協議会の活動として、学友会と育友会における地域支部活動の合同化、神人会（人事担当者の職場会）や食料関係などの職場における卒業生ネットワーク活動の強化、東京や大阪の支部における現役若手の交流強化などを行うことを提案したいと考えます。「オール神戸大学体制」構築により、ステークホルダー間の交流を強化し、「神戸大学ブランド」向上の好循環を醸成したいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

東灘区  
女性医師の会

## 男女共同参画、女性医師支援活動 ヴィーナス・ネットワーク

東灘区女性医師の会

ヴィーナス・ネットワーク会長 宮地 千尋 (昭和54年卒)

## 開催案内

女性医師の就業継続、職場環境の整備は男性医師にとっても働きやすい環境作りに繋がります。私は、数年前より兵庫県医師会男女共同参画推進担当理事としてまた、兵庫県女性医師の会の委員として女性医師支援活動に参加しております。兵庫県医師会の取り組みは、離職した女性医師の復職のための研修支援、女性医師支援相談窓口、医師会員のベビシッター費用の一部負担、学生・研修医をサポートするための会、研修会、フォーラムの開催、研修医のいる病院の訪問等です。しかしこのような支援活動の情報が必要としている医師に十分周知されていないと感じております。離職している女性医師や勤務医・研修医は恐らく医師会に入会しておらず情報が届きにくいと考えられます。

届けたい所へ情報を発信し、男性医師の認識を変え協力を得るためにも兵庫県全体の活動に加えて、各地域でも地道な努力が必要と考えています。そこで平成28年5月に私の地元、東灘区で男女共同参画、女性医師支援を呼びかけ東灘区医師会の協力の下、東灘区女性医師の会 ヴィーナス・ネットワークを立ち上げました。会の目的は、女性医師を中心に男性医師も巻き込んでネットワークを作り、男女共に働きやすい医療環境作りに寄与することです。現在指導的立場にいる男性医師に女性医師支援に対する理解を求めていきます。また、女性医師も年齢、既婚、未婚、子供の有無により立場や考え方が異なりますので気軽に情報交換、相談などができる楽しい場を提供したいと思います。10月22日に第1回研修会を開催致します。ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

女性医師の会の究極の目標は、男女ともに仕事・生活で協働し、社会で平等に評価されることが当たり前になり女性医師の会が必要でなくなることです。何十年後かに「昔、女性医師の会というのがあったらしいわね」「そのお蔭で女性医師が活躍するようになって、男性医師も助かったんだね」という会話が聞かれるかもしれません。

## 第1回研修会のご報告

東灘区女性医師の会 ヴィーナス・ネットワークの目的は、女性医師が気軽に情報交換、相談などができる楽しい場を提供すると同時に、女性医師を中心に男性医師も巻き込んでネットワークを作り、男女共に働きやすい医療環境作りに寄与することです。

第1回研修会を10月22日に神戸ベイシェラトンホテルにおいて、第一三共株式会社さんの共催、兵庫県医師会の後援で開催することができました。出席者は40名、うち男性は8名でした。東灘区医師会長坂 肇会長の開会のご挨拶に続き、女性医師の会会長である私も会の目的についてお話致しました。講演Ⅰは大分大学医学部附属病院 総合内科・総合診療科 診療教授 吉岩 あおい先生による「認知症治療における骨粗鬆症治療の重要性～寝たきり認知症を防ぐために～」で、アルツハイマー病は女性に多く、骨折により寝たきりになると罹患率が上昇します。認知症の診断、治療、介護のコツ、骨粗鬆症の予防、治療などわかりやすくお話いただきました。認知症の方は、最後まで感情は残っており笑顔には反応されることを介護する側は忘れずに接することが大切だということです。講演Ⅱは兵庫県耳鼻科医会会長 水津 百合子先生による「プロフェッショナル～女性の流儀 私の場合～」でした。先生ご自身のキャリアにも触れられ、子育ての時期に開業されたとのことでした。女性医師が勤務医としてあるいは大学職員としてキャリアを継続することは困難であったとのことでした。当時目標とする女性医師像はなかったが、ただ耳鼻科医として真摯に患者さんと向き合い診療を通して経験を積まれて来られたそうです。また、自己啓発、資格を取ることがキャリアアップに繋がるので大切です。女性として初めて兵庫県耳鼻科医会会長を務めておられ、女性医師が医師の団体のリーダーになり活躍することが女性医師支援にも重要だと話されました。

この後のディスカッションは、いろいろな立場の先生方からご意見や質問が飛び交い楽しく有意義な会となりました。

東灘区女性医師の会 ヴィーナス・ネットワークの究極の目指すところは、男女ともにワークとライフの両方で協力して働き、社会で平等に評価されることが当たり前となり、女性医師の会が必要でなくなることです。それまでは、継続したいと思いますので、どうぞよろしくご支援くださいますようお願い申し上げます。



研修会の様子



兵庫県耳鼻科医会会長 水津 百合子先生の講演



懇親会で。右から兵庫県女性医師の会会長 渡辺 弥生先生、水津 百合子先生、筆者

## 第10回兵庫県医師会男女共同参画フォーラム

神緑会理事 千谷 容子 (昭和61年卒)

平成28年7月23日土曜日に兵庫県医師会2階大会議室で第10回兵庫県医師会男女共同参画フォーラムが開催されました。まず最初に空地頭一兵庫県医師会長と兵庫県女性医師の会渡辺弥生会長から開会の挨拶がありました。女性医師の会は今年で10年目を迎えます。日本医師会や全国の大学で女性医師の支援が実施されており、もはや育児支援や短時間勤務制度は常識のようになってきています。会長は今後の女性医師の会の活動を誓われました。そして最初に神戸女学院大学出身のトロンボーンとピアノによるアンサンブルグループのベル・カント、トロンボーンのメンバーが素敵な演奏を聴かせて下さいました。演目は①G線上のアリア②オーソレミオ③オペラ トゥーランドットより《誰も寝てはならぬ》④茶色の小瓶⑤おもちゃのチャチャチャ でした。

### 基調講演

神戸大学名誉教授の田中千賀子先生を講師にお招きして、「女性医師キャリアの多様性とリーダーの役割」というテーマでした。田中千賀子先生は国立大

学勿論神戸大学初の第1号女性教授で、神戸大学では神緑会講演会で研究成果があると評価された神緑会女性会員研究者に「田中千賀子賞」が設けられ10人目を迎える事になり、受賞記念講演が行われてい

ます。光栄な事に私も司会を務めさせて頂いております。受賞者は各方面でのリーダーとしても活躍されておられます。講演会には田中千賀子先生も参加して下さり本当に頭が下がります。基調講演では田中千賀子先生の学歴も紹介されました。先生は当時では本当に珍しいことだったそうですが、京都大学医学部を卒業されました。

学生時代は女性の事を「めのこ」と呼ばれ、教授の対応がまだ解らない状態だったそうですが、卒業されてからの進路を決められる時に、女医のワークライフやキャリアメイキングの可能性の限界を考えられて生活の負担と研究のバランスを考えて基礎医学を選択されました。先生は大学院に進学されて育児をされながら過ごされました。そして勤務先の近い場所に居住して育児支援や家事支援を惜しまず利用されながら勤務を継続されました。決して1人で出来るわけないのだから抱えこむなと言うアドバイスを頂きました。大学で研究を始めた頃は本当に少人数で設備も悪くて、一つ一つこつこつマイペースで研究チームのメンバーで時間的には自由な研究を進めていかれました。研究成果が上がってからはYale 大学神経薬理学研究室で研究しながら多くの研究者との共同研究をされています。神戸大学に就任されてから17年間だそうですが、薬理学の末梢神経伝達物質 GABA を同定されて、L-DOPS の創薬、神経シグナル伝達と PKC の研究、人の脳における受容体とシグナル分子の研究をされています。教科書の NEW 薬理学は2016年に、第7版が出版されています。今も改定版の編集中だそうです。キャリアメイキングや学生の育成に尽力され研究者キャリアパス支援をされて、そのおかげで多くの研究者が活躍されています。女性教授も育成されておられ、学位も沢山出されています。定年されてからは介護をされ、各団体の責任者になられて更に薬理学の賞も受賞されています。もうお孫さんもおられて家事育児介護と乗り越えられてこられた大先輩に感動しました。学生の育成にはロールモデルでないといけなと言われておられますが、ワークライフバランスは個々に差がありますし困難な時期もきっと過ごされたのではないかと思います。田中千賀子先生から医学部に入学したのだから勤務継続は当然の義務であると非常に厳しい指導を頂きました。改めてその偉大さを思い知らされました。その道の厳しい現実と私達の使命を重く受け止め反省と新たな決意をさせ

第10回 兵庫県医師会男女共同参画フォーラム  
しなやかにしたたかに美しく  
~ともに輝く社会を目指して~

平成28年7月23日(土) 14:35~17:00  
兵庫県医師会館 2階大会議室  
神戸市中央区磯上通6-1-11 TEL:078-522-1111

トロンボーン演奏 14:35~  
演奏 ヘルムカント・トロンボーン

基調講演 15:00~  
講師 兵庫県女性医師会の理事 平井 みどり  
「女性医師キャリアの多様性とリーダーの役割」  
神戸大学名誉教授 田中 千賀子

シンポジウム 16:00~  
講師 兵庫県医師会理事 宮地 千尋  
コメンテーター 田中 千賀子  
シンポジスト  
神戸大学医学部附属病院長兼病院長 特命講師 高橋 路子  
兵庫県立大学附属病院長 特命講師 高橋 敬子  
兵庫県立加古川医療センターリウマチ科部長 塩澤 和子先生  
神戸大学医学部附属病院長 特命講師 岡本 隼樹

入場無料  
男性の参加も歓迎します。

FAX応募 最新の入札システムをご利用下さい。  
申し込み 随分の希望(無料) 参加は定員を超過しない限り優先します。ご希望の参加費は申し込み時にお知らせいたします。申し込みは7月15日(金)までです。申し込みは7月15日(金)までです。申し込みは7月15日(金)までです。

主催 兵庫県医師会 女性医師の会  
共催 兵庫県薬剤師会 兵庫県助産師会 兵庫県看護協会

て頂きました。学生時代に講義を受けた卒業生が成長して沢山講演会に来られて懐かしそうに聞き入っておられました。先生は私達の憧れでした。でもそのご苦労とその厳しい道のりを決して忘れてはならないと思いました。後輩が続いて活躍出来る環境にしたいです。そのための支援を改めて決意しました。

### シンポジウム

「しなやかにしたたかに美しく~ともに輝く社会を目指して~」

コメンテーターは田中千賀子名誉教授、座長は宮地千尋理事でした。シンポジストは①神戸大学医学部附属病院 栄養管理部副部長・特命講師 高橋路子先生②兵庫医科大学循環器内科・冠疾患内科 准教授 高橋敬子先生③兵庫県立加古川医療センター リウマチ科部長 塩澤和子先生④神戸大学医学部附属病院 総合臨床教育センター 研修医 岡本隼樹先生。

高橋路子先生はブラッシュアップセンターで選ばれた研究者で現在3児の母です。栄養管理部でいつも遅くまで勤務しておられ、研究成果が評価されて田中千賀子賞を受賞されています。是非今後も研究

を続けて素晴らしい成果を上げて活躍して頂きたいです。先生の悩みは帰宅時間が遅くて家事がなかなか出来ないことだそうで、お子さんの勉強もご自分で見れる時間は少ししかないですね。周囲の人に助けて貰いながら支援を利用して乗り越えて行って頂きたいです。そして先生の研究は糖尿病の治療に必ず役に立つことになります。それは素晴らしい事だと思います。ご自分の人生も一度きりなのだから思い切りやりたい事をしていいと思います。

高橋敬子先生はハードな循環器内科でキャリアメイキングされています。男性が多い中で大変なご苦労だと思いますが、先生の研究やワークライフは今後のリーダーの育成に必ず役に立つと思います。兵庫医科大学では特に女性の育成に力を入れてないようなのですが、耳鼻咽喉科では何故か女性医師が沢山活躍されているそうです。大学医学部の女性医師支援の充実が望まれます。

塩澤和子先生は勤務医で専門は慢性関節リウマチです。研究と臨床をずっと続けておられます。お子さんのいない先生も多いので様々なワークライフを聞かせて頂けて嬉しいです。岡本隼樹先生はまだ若くて独身ですが、学生時代には男女の意識に時間的なずれがあることを指摘されています。女性は卒業までにもう将来のワークライフバランスを考えているのに男性はまだ具体的なことは何も考えずに卒業してしまい、勤務後に意識し出すそうです。女性はどうしても家事出産育児教育介護と負担が大きく、転勤があると相手の男性に合わせる事が多くて、なかなか転勤後の勤務が難しいケースもあるようで

す。どうすれば離職せずに出来るかを周囲の方と十分に話し合い助け合いながら支援を利用して勤務が継続出来るようになって欲しいです。

質疑応答では、女性医師のワークライフバランスについて活発な意見交換が行われました。そこで男女問わず医学部に入学した限りは責任を持って勤務継続するべきで是非今後活躍してほしいとの田中先生からの後輩へのメッセージがありました。田中千賀子先生シンポジストの先生皆様お忙しい中本当にありがとうございます。この日は69名の方が参加して下さいました。(ブラッシュアップセンターの錦織先生や神戸大学の薬剤師の男性もおられました。)

そして閉会の挨拶を小高正裕兵庫県医師会副会長にして頂きました。女性医師が勤務継続してくれなければ将来医学界は破綻すると警告を発しておられます。今後の女性医師の環境改善と後輩の研究者が続いてくれる事が期待されます。



トロンボーン



シンポジウム

## 社会福祉法人恩賜財団済生会大阪府済生会中津病院 創立100周年を迎えて

総長・病院長 川 嶋 成乃亮 (昭和52年卒)



昭和10年のレプリカと後方が現代の病院



平成22年に私が社会福祉法人恩賜財団済生会大阪府済生会中津病院（以下中津病院）の院長の就任した際に、中津病院の紹介、並びに院長としての抱負を神緑会会報に書かせていただいています。平成28年10月10日にて、中津病院が創立100周年を迎えましたことを期に、済生会と中津病院について改めてご紹介させていただきます。

済生会は明治44年に明治天皇が「生活苦で医療を

受けることができずに困っている人たちを施薬救療によって救おう」との「済生勅語」を發せられ、お手元金を下賜されたことにより設立されました。その後も歴代皇室が総裁を務められ、医療・福祉を行う団体として発展してきました。現在は平成25年4月より第6代総裁に秋篠宮殿下を推戴しています。

大正3年に第一号病院として神奈川県病院が設立され、翌年に芝病院（現在の中央病院）が設立されました。そして、大正5年に済生会3番目の病院として、当院の前身である大阪府病院が設立されました。現在では、全国に79病院と、20の診療所、そして約280の老健、特養などの施設を有し、54,000人が働いています。

済生会は戦前までは恩賜財団ということで、国庫補助を受けていましたが、戦後は済生会に対する財政補助が一切なくなり財政的に厳しくなりました。そこで済生会は昭和26年より、社会福祉法人として新たなスタートを切りました。このような設立過程により、済生会は日赤、厚生連（農協が母体の病院

群)と共に[公的]病院として位置づけられています。そして、社会福祉法人であることにより、『無料低額診療事業』を行うことが義務づけられています。この生活困窮者に対する無料低額診療というのは、済生会にとって最も重要な事業と位置づけられ、全患者の10%以上に10%以上の診療費免除をしなくてはなりません。なお、済生会の掲げる三大目標は、①生活困窮者を濟(すく)う ②医療で地域の生(いのち)を守る ③医療と福祉、会を挙げて切れ目のないサービスを提供、となっています。

現在の済生会には、秋篠宮殿下・総裁のもとに豊田章一郎会長、炭谷茂理事長がおられ、理事長の下に事務職からなる本部組織があり、済生会の運営にあっています。理事長は現理事長を含め歴代、厚労省出身の方が就任しています。済生会は本部の下に都道府県単位で支部があるという組織体制となっており、現在40都道府県に支部があり、病院や老健、特養などの施設は各々の支部に属し、支部の責任者として支部長がいます。済生会は長い歴史の中で拡大してきた結果、支部の規模も様々ですが、当院の属する大阪府支部は全国最大の支部であり、8病院とその下に40近い各種福祉施設等があります。

済生会の各々の病院は独立採算で運営されています。本部は済生会全体の運営には携わっていますが、経営的には各支部は独立しており、さらに支部の中においても各病院は独立採算が基本となっています。院長の任免権は理事長にあるものの、各病院の運営・経営は、大幅な赤字を続けない限り、各病院長に任せられ、運営・経営における病院長の権限が非常に強いのが、済生会の特徴です。給与制度、定年制などは各々の病院でまちまちであり、病院間の人事異動もなく、個々の病院の赤字を病院間で補填し合ったりすることはありません。しかしながら、済生会もこの数年、急速にガバナンスの面から本部主導の運営体制に移りつつあり、本部が、頻回にかつ密に、各病院・施設の経営指導を行うようになってきています。昨年4月からの社会福祉法改正もこの流れを更に加速させそうです。

さて、中津病院ですが、JR大阪駅から徒歩数分の距離にあり、大都会のど真ん中に位置する済生会で最大の病床数を有す大型総合病院です。中津病院の敷地内には、特養、老健、乳児院、肢体不自由児施設、看護専門学校、訪問看護ステーションなどの諸施設があり、病院を含め全体として中津医療福祉

センターという形をとっています。本年4月から、私は中津病院の院長と、このセンター組織全体の調整を行うセンター総長を兼任しています。

中津病院は大正5年10月10日に大阪市北区中崎町に70床の済生会大阪府病院として設立され、初代院長は石神享先生でした。大正7年には2代目院長に田結宗誠先生が就任し、田結先生はその後34年間に渡り、院長として中津病院の発展の礎を築きました。中津病院の発展には設立初期における篤志家二人の寄付が大きく関わっています。まず開院後、病棟がすぐに手狭になってきたところ、大正11年に鳥井商店(現サントリー)の鳥井信治郎氏から病棟1棟と運営資金の寄付がありました。その後昭和に入り、建物の老朽化と規模の狭隘さが問題となってきたにも関わらず、資金難で増改築計画が進みませんでした。昭和8年に大阪のメリヤス商として財を成された嘉門長藏氏より、当時のお金で100万円の寄付がありました。これにより、病院の移転改築が可能となり、中津病院は芝田町の旧府立北野中学の跡地である現在地へと移転し、220床の都市型病院として、今日の中津病院へとつながる新しい一歩を踏み出しました。

昭和13年に病院名を恩賜財団済生会大阪府中津病院と改め、昭和26年に社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会中津病院と改称しました。日本の高度成長に合わせ、中津病院の病床数は次第に増え、1963年、昭和38年には468床となりました。そして福祉施設の開設にも注力し、昭和24年には病院付属乳児院を、昭和26年には大阪整肢学院を開設しました。昭和44年には、現在の中津病院、中津医療福祉センターの形を創り上げた豊島正忠先生が第5代院長に就任し、中津病院は次々と増築整備を行っていきます。まず昭和55年に新館中棟を、昭和61年に東棟を建設し、これに合わせ病床数は468床から606床へ、そして778床となりました。昭和61年からは病院と附設各施設を一体管理するために、センター制をとることとし、中津医療福祉センターが誕生しました。そして平成2年に各福祉施設や中津看護専門学校が入る西棟が建設されました。平成8年には第7代院長として斎藤洋一先生が就任し、地域医療福祉連携センター、訪問看護ステーション等を開設、また平成14年には北棟を建設しました。平成15年には小林克也先生が第8代院長に就任し、平成17年にPETセンターや、リハビリセンター等が入る南棟が建設さ

れました。これにて約25年かけて行ってきた病棟の増築整備は一段落しました。平成22年からは、私、川嶋が第9代院長に就任し、同時期に就任しました北野公造前センター総長と共に、中津病院、中津医療福祉センターの運営にあたるようになりました。

現在の中津病院ですが、総ベッド数は712床、うち78床が地域包括ケア病床、33床が回復期リハビリ病床、601床が7：1看護体制をとる一般病床となっており、病院職員数は約1500人、そのうち医師は約200名となっています。病院附設施設としてPETセンター、健診センター、デイケアを有しています。

私が院長になってからの中津病院の動きを紹介します。長い間、中津病院は、中津医療福祉センターの中核として、病院完結型の医療をしてきました。しかしながら次第に地域完結型医療が求められる様になってきたことより、地域完結型医療への転換を進め、大幅に地域連携センターを強化し、逆紹介を推進した結果、遅ればせながら平成26年に地域医療支援病院認定が取得できました。現在、紹介率は80%、逆紹介率は100%を超えるようになっています。当院のこの10数年の強みは消化器疾患であり、消化器内視鏡検査数は年間18000件を超え、胃がん、大腸がんの手術件数は近畿でトップクラスです。神戸大以外の出身の消化器内科、外科の各部長がこれら診療科を引っ張ってきましたが、この方々がこの3年で相次いで当院から異動しました。しかしながら、神戸大学から岡田消化器内科部長、田中外科部長の派遣をいただき、以前にも増して充実した診療を行っています。一方、従来急性期疾患に対する診療体制は必ずしも強いとはいえ、周囲の病院からは、ケアミックス型病院として見られてきました。そこで院長就任時、急性期病院としての機能強化を最大の目標として掲げました。まずは救急応需体制の強化を行い、年間3000台前後だった救急車搬送受入数はなんとか6000台を超えるようになりました。ただ救急専門医は2名であり、全例受け入れの体制にはなっておらず、まだまだ整備・強化が必要です。

一方、救急医療の中心的役割を果たす診療科の一つ、循環器内科に関しては、神戸大学で准教授をしていた志手先生（現副院長）が、平成24年に心臓カテチームとともに当院に赴任し、大幅に受け入れ患者数が増加し、カテーテルインターベンション数は大阪の総合病院ではトップとなりました。

また急性期病院としての立ち位置を明確化するた

め、病院機能の再構築を行いました。長かった平均在院日数を大幅に短縮し、一般病床の診療密度ならびに看護重症度を上げるため、病床再編に取り組み、その一環としていち早く、地域包括ケア病棟を立ち上げました。そして平均在院日数の短縮に対応するため病床削減を行い、総病床数は778床から712床へ、一般病床は694床から601床へと減床しました。このような改革の結果、診療単価は院長就任時の1.5倍を超え、診療密度が上がった結果、当院は平成28年からは大阪府下で6番目のDPC II群病院となりました。また、医療の質の強化・可視化にも力を入れており、クリニカルパス使用率は60%を超え、外部からの評価としてはISO9001とISO15189の認証を取得しました。

このように様々な改革を行ってきてはいますが、患者獲得には苦労しています。月当りの新入院患者数はこの6年間で1.4倍になったものの、その伸びは頭打ちとなりつつあります。当院は全国屈指の医療激戦区に立地しており、500床以上の病院だけでも、3km圏内に、北野病院、大阪市立総合医療センター、淀川キリスト教病院など6病院があります。どこかの病院の患者が増えると、どこかの病院で減るという具合です。そして、これら大型病院の主たる派遣元大学がまちまちであり、かつ民間病院が力を持っているというのが大阪の特徴です。そのせいか、地域医療構想もその調整がおそらく全国で一番遅れているのは大阪でないかと思います。

中津病院は、医師構成が神戸大学、京都大学、大阪市立大学、大阪医科大学など複数の大学出身の混成からなる点が、多くの神戸大学関連病院とは異なっています。現在30診療科中、9科の診療科の部長が神戸大学からの派遣、あるいは神戸大学出身となっており、病院運営の中軸的役割をしています。一方、研修医はフルマッチを続けていますが、最近、神戸大学出身の研修医が減っていることが気になっており、ぜひ神戸大学から優秀な研修医に来て頂きたいと思っています。

最後になりますが、創立100周年を迎えることができたのは、質の高い医療を提供しようと病院を支えてきた先輩職員の方々、さらには病院を見守ってくださり続けた地域の方々のお陰であり、この100周年を期に、更に病院機能を充実し、医療激戦地大阪での中核病院として発展していきたいと思っています。

## 2016年度大倉山祭開催報告

江口 茉奈美 (学部4回生)

da Vinci 体験会	10月16日	地域医療活性化センター
スポーツ大会	10月22日	国文グラウンド
医療シンポジウム	10月23日	神緑会館
大倉山祭本祭	10月30日	大倉山公園

今年度は「EBM ～ええやん“僕らの”祭りやん～」というテーマを掲げ、大倉山祭を開催致しました。医学部生らしい、今年の実行委員ならではのオリジナリティに満ちた、多くの人を楽しめるにぎやかな祭にすることを目指し開催させていただきました。

10月16日には昨年度に初めて開催し好評だった da Vinci 体験会を再び行い、兵庫県内の中高生とその保護者に最先端の医学を体験してもらいました。参加者の目が輝いていたのが印象的でした。



da Vinci 体験会 兵庫県内の中高生が集まりました

10月22日はスポーツ大会を行い、5チームが優勝目指してソフトボールで熱戦を繰り広げました。当日は、気持ちのよい汗を流すと共に、学年や部活動を超えた交流を深める楽しい1日になったと思います。

10月23日には「免疫ってすごい!」というテーマで医療シンポジウムと当日は、学生以外にも地域の方々にたくさんご来場頂き、立ち見客が出るほど賑わった会となりました。医学生以外の一般の方にも医学、神戸大学医学部に興味をもってもらう貴重な体験を提供できたのではないかと考えております。

10月30日の本祭では、毎年恒例の人気の吉本お笑いライブや音楽ライブ、ビンゴゲームなどに加え、



医療シンポジウム会場  
今年は満員御礼で立ち見客が出るほどでした

観客も投票可能な男子カップルコンテストや、サイドステージでのBMX（自転車）やジャグリング等でも大いに盛り上がりました。今年は子どもも楽しめる縁日、お年寄りも楽しめる将棋大会など、さまざまな来場者を飽きさせない工夫を施しました。受験生相談コーナーではひっきりなしに相談者が訪れ、良かった模擬店に投票するB1グランプリは投票ボードが埋まるほど票が集まりました。この祭りを通じて多くの人に医学部に親しみをもってもらえたと思っております。

昨年度あたりから大倉山祭は学生だけが楽しむ祭りではなく、地域住民など老若男女が楽しめる祭りにしようと企画・広報と力を入れて参りました。その努力の成果が実り、例年以上の来場者を迎えること



新企画のスマブラ大会



音楽ステージ



看板娘



模擬店

今年もB1グランプリを開催し、接戦を繰り広げました

ができ、「ええやん」と思ってもらえる祭りになったのは実行委員冥利に尽きます。

カリキュラムが変わりつつある今年は3・4回生合同で実行委員会を結成し、学年や部活の隔たりを超えて約半年間奮闘し、絆を深めて参りました。普段関わることのない地域や社会の人々と関わり、医学を勉強しているだけでは得られないけれど医師として、人として生きていく上で大切なものを学び、各実行委員一人ひとりが成長できたのではないかと感じております。

このようにテーマに込めた目標を達成でき、無事大倉山祭を開催できましたのも、神緑会会員の先生



新企画の縁日 子どもに人気でした

方からのあたたかいご支援・ご協力のおかげだと存じ上げます。援助して頂いた約155万円のご寄付は、屋外のステージ等の設営費用や、吉本お笑いライブ等のステージ企画費用、各模擬店への補助や、チラシやパンフレットといった広報資料の作成などの運営費用の一部として使わせて頂きました。心より感謝と御礼を申し上げます。



大倉山祭神緑会ブース前で千谷容子先生

これからは来年度以降も充実した大倉山祭にしていけるよう、後輩への引継ぎに力を入れるつもりです。今後とも、私たちの学生生活に対しまして変わらぬご厚情とご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、大倉山祭のご報告と御礼の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



2016年度大倉山祭実行委員 総勢45名

## 「大倉山祭医療シンポジウム」を開催しました

大倉山祭医療シンポジウム実行委員長 大木元 彩 夏 (学部4回生)

平成28年10月23日(日)、神緑会館にて市民公開講座、神戸大学医学部大倉山祭医療シンポジウムを開催しました。「免疫ってすごい！」をテーマに、からだを守る働き「免疫」がどのように健康に影響を与えるのかを地域の皆様や学生とともに学びました。



会場

講師として、神戸大学医学部附属病院膠原病リウマチ内科准教授である森信暁雄先生と同じく神戸大学医学部附属病院循環器内科准教授である山下智也先生をお招きいたしました。森信先生は関節リウマチや癌の免疫治療の最先端について、山下先生は動脈硬化と腸内細菌の関係についてご講演くださいました。また、学生発表として佐藤郷介さん(二回生)が免疫系の老化についての研究成果を報告し、東洋医学研究会による脈とお香についての展示も行われました。



東医研展示

皆様のご協力のおかげで、参加者131人の盛会となりました。免疫というテーマに興味を持った地域の方々がたくさん来場してくださいました。講演は笑いや感嘆がもれるとても楽しいものとなり、講演後は、質問時間をもっと長く用意すべきだったと思うほどたくさんの質問や感想がありました。参加者の皆様から「医療がどんどん進んでいることがわかり、今後の成果が楽しみだ」「大変楽しく、勉強になった」「身近な話題で興味深かった」「ぜひ来年も参加したい」など温かいお言葉をたくさんいただき嬉しく思います。

末筆ではございますが、本シンポジウム開催にあたりご尽力くださいました多くの方々に感謝申し上げます。特に森信先生、山下先生にはご講演をお願いしたところ、大変お忙しい中快くお引き受けいただきました。ありがとうございます。またご支援いただきました、神緑会、兵庫県医師会、神戸市医師会に感謝申し上げます。

大倉山祭医療シンポジウムは毎年大倉山祭の一環として行われています。次の開催は2017年10月頃を予定していますので、是非たくさんの方々に参加していただき、医学についての知識を深め新しい発見を共有していけたらと思います。



看板

## 第68回 西日本医科学生総合体育大会（西医体）成績表

平成28年8月6日から21日の日程で第68回の西医体が開催されました。今年の主催は徳島大学で、参加校が44校、参加人数が15,000名を超える大きな大会となりました。総合成績は、1位 三重大学、2位 金沢大学、3位 山口大学となり、神戸大学は21位で前回大会の8位を下回る成績でした。神戸大学の各競技別の成績を以下に示します。

競技名		神戸大学 成績
テニス	男子	二回戦
	女子	ベスト8
ソフトテニス	男子	ベスト4
	女子	ベスト8
サッカー		一回戦
準硬式野球		一回戦
バスケットボール	男子	一回戦
	女子	ベスト8
バレーボール	男子	ベスト8
	女子	2位
バドミントン	男子	2回戦
	女子	参加せず
弓道	男子	参加せず
	女子	参加せず
柔道	男子	3位
	女子	参加せず
卓球	男子	一回戦
	女子	二回戦
ボート		参加せず

競技名		神戸大学 成績
陸上競技	男子	参加せず
	女子	参加せず
ヨット		4位
水泳	男子	参加せず
	女子	第13位*
合気道		優勝演武賞 個人有段の部
空手	男子	参加せず
	女子	予選リーグ3位
剣道	男子	3位
	女子	予選リーグ2位
ハンドボール		第4位
ラグビー		2回戦
ゴルフ	男子	順位不明
	女子	参加せず
スキー	男子	第16位
	女子	第13位
総合		第21位

\*400m 自由形 1位  
100m バタフライ 1位

HYOGOKEN IRYOU CREDIT UNION (HICU)

兵庫県医療信用組合

### ローンのご案内

兵医信は兵庫県医師会・兵庫県歯科医師会・兵庫県薬剤師会を設立母体とした、兵庫の医療・医薬に関わる皆さまと共に歩む専門金融機関です。

#### 住宅ローン

ご自宅の新築、購入、増改築、  
自宅建築用地の購入、他行住宅ローンの  
借り換えなどにご利用いただけます



ご融資金利	年 <b>1.000%</b> (変動金利)
ご融資限度額	<b>1億円</b>
ご融資期間	<b>35年以内</b> (完済時満75歳以下)
担保	不動産

#### 神戸医師協提携ローン

神戸医師協同組合が取扱う医療機器の  
ご購入や診療所の改装資金などに  
ご利用いただけます



ご融資金利	年 <b>1.050%</b> (変動金利)
ご融資限度額	<b>3,000万円</b>
ご融資期間	<b>7年以内</b> (完済時満75歳以下)
担保	不要

◎その他の商品についても取扱いを行っておりますので、詳しくは各営業店の融資担当者までご相談ください。

※1 本商品は変動金利型の商品です。 ※2 金利情勢等により、内容の変更を行う場合がございます。 ※3 お借入に際しましては原則、担保または国保の振込指定が必要です。  
※4 審査の結果によってはご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

◎組合への出資のお願い 出資1口の金額は1,000円となります。10口(1万円)以上のご出資を目的にお願いしております。

(平成28年11月1日現在)

◎詳しくは各営業店までお問い合わせください。

本店営業部	TEL <b>078-241-5201</b> 〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-2-17
尼崎支店	TEL <b>06-6426-6288</b> 〒661-0012 尼崎市南塚口町4-4-8 ハーティ21内

姫路支店	TEL <b>079-282-0177</b> 〒670-0932 姫路市下寺町43 姫路商工会議所新館内
西宮支店	TEL <b>0798-36-1010</b> 〒662-0911 西宮市池田町13-2 西宮医療会館内

## 故平井<sup>いく</sup>毓太郎博士「平井の梅」 記念碑移設披露式について

平成28年10月29日（土）午後4時から神戸大学医学部ホームカミングデイ行事の一環として故平井毓太郎博士「平井の梅」記念碑移設披露式が神戸大学医学部神緑会館（多目的ホール横）で開催されました。

出席者は移設代表者として神緑会会長 前田 盛、中村 肇神戸大学名誉教授、寺島俊雄神戸大学名誉教授、来賓として兵庫県小児科医師会から末廣文彦名誉会長、河盛重造副会長、筒井 孟副議長、また兵庫県小児科学会から飯島一誠兵庫県地方会会長（神戸大学医学部研究科小児科教授）が出席されました。

当日はホームカミングデイに参加された神緑会会員の先生方も多く同席されてつづがなく行事が終了しました。

ご出席の先生方のご尽力により神戸大学医学部に隣接する広厳寺（楠寺）に永年に亘り放置されていた石碑が移設されものであり、経緯については過去の会報等で詳細に報告されています。

### （経緯概要）

1950年（昭和25年）

長澤 亘（明治20年 県立神戸医学校卒）が記念碑建立（平井先生没後5年）

1992年（平成4年）

記念碑が台座から壊れた状態で発見

1995年（平成7年）

阪神淡路大震災で改修中に再発見された

2010年（平成22年）

本学同窓の中村名誉教授の記念講演で言及し寺島俊雄名誉教授が感銘を受け調査、執筆し状況を訴求された

2015年（平成27年）ホームカミングデイ  
名誉教授講演で中村教授が重要性を講演

2016年10月29日（土）  
移設



左：兵庫県小児科医会名誉会長 末廣文彦先生  
右：日本小児科学会兵庫地方会会長 飯島一誠先生



「平井の梅」石碑除幕式



左から神戸大学名誉教授 兵庫県小児科医会顧問 中村 肇先生  
日本小児科学会兵庫地方会会長 飯島一誠先生  
兵庫県小児科医会名誉会長 末廣文彦先生  
兵庫県小児科医会副議長 筒井 孟先生  
兵庫県小児科医会副会長 河盛重造先生



# 寮歌のメロディーについて

下 奥 仁 (昭和29年卒)

県立神戸病院の創立150周年、神大医学部創立75周年の記念日が近くなってきたので、神緑会学術誌や神緑会ニュースレターなどに先輩の作詞した医学部予科の寮歌が掲載されていることがあるが、実際に寮歌を知っている人は問題がないが、知らない人はどんなメロディーかと思うことが多いとかねがね思っていたことと、メロディーを知っている人も次第に少なくなってくるので、どうにかしてそれを譜にして、後輩たちも歌えるようにしておく必要があるとかねがね考えていたので、このことを前田理事長にお話しすると、今度のホームカミングデイ (10月29日) に歌ってみてはということになって、予科時代に寮歌を歌ったことのある数名のものが今回、歌って後輩にこんなメロディーであったとゆうことを聴いてもらうというのがそもそものはじまりです。

兵庫県立医学専門学校が昭和19年に創設され、昭和21年に旧制医科大学に昇格し、それと同時に予科が創設されましたが、これには篠山町にあった昔の陸軍の70連隊の兵舎が校舎としてあてられました。長さ約60メートル、奥行約15メートルの木造2階建ての兵舎で一階が寮、二階が教室として使用され、南と北の2つの建物があてられたので、それぞれ南寮、北寮、とよばれ一学年80名の定員で、全寮制で3年間現在の教養過程の教科をここで学びました。この寮の北側に盃を伏せたような姿の良い盃山がめだつ良い環境でした。大学の一期生は予科3年に編入されましたが、早急に寮歌を必要

としたために一期生のうちの才能のある方が取り急ぎ数編の寮歌をつくりましたが、その代表がここに掲載してある南寮寮歌と健児の賦です。急いで、作ったにしては良くできているので、以後、いろいろの学内外の行事に用いたいそうです。

## 巻頭言

仰げば 星斗爛々として悠久の真理を囁き  
頭をめぐらせば盃の山 森々として若人の熱を湧かす  
自然の恵み豊かなる此処篠山の一角に  
天地の正気 凝りて立てるもの実にわが母校  
神戸医大予科 芳梅寮 ソーダー (全員絶叫！)  
されば歌わんかな 踊らんかな 熱血の歌 情熱のしらべ  
南寮 寮歌 ! アイン・ツヴァイ・ドライ

少し文言の解説をしておきます  
「盃の山」寮の北に盃を伏せた形の、現地では「盃山」と呼ばれる山があり目印になっていた。  
「篠山」現在の兵庫県篠山市 (当時は兵庫県篠山町。戦争中には郊外に歩兵第七〇連隊の兵舎があり、神戸が戦時中の空襲で焼け野が原の状態で学校にする建物が無く、終戦直後の日本では最も早く医大設立を認可された (旧制) 兵庫県立医科大学予科は篠山の兵舎を利用して設立された (一九四六年より五期生まで) (原則全寮制)  
「芳梅寮」予科の校章は「梅檀は双葉より芳し」の梅檀で、寮の名前に「芳」と「梅」が使われた。

## 南寮寮歌

作詞 西口 睦 (昭和26年卒)  
作曲 平田 昌男 (男女交後、音楽先生)

一、双葉芳し梅檀の根を張る大地延ぶる天  
希望はるけき若人の自由の息吹きとこしえに  
我が南寮にほほえめり  
二、歎けど帰らぬ若き日に  
真理の言葉あこがれて  
翼 羽ばたく風舞の熱血涙と共に湧く  
我が南寮にほほえめり  
三、ああ 日輪のもゆる如く  
大雪原の月の如く  
文化の精にまみゆ時  
久遠の光 身に帯びん  
若き日ぞ精華なれや  
(フレリー南寮 フレリー南寮 フレリーオーオー)  
四、美酒玉杯にうもれても  
魔囚の雷の聞えても  
健児ら痴人の夢破り  
ヴェルテルの如く 解かんはず  
一、疾風壯葉を捲く時も  
雷雨風を呼ぶ時も  
健児ら裸足に白はなお  
真理の のろし振りがさし  
二、盃 山頂 白布着ても  
野に霧柱たらいても  
健児らマントなびかせて  
高き理想を仰ぎつつ  
三、傾揺 風とつのもとも  
淫安の霧こむるとも  
健児ら 快楽低く見て  
永遠の道までゆかんかな

作詞 西口 睦 (昭和26年卒)

この寮歌の発表については、ご病気で欠席となったが横山博朗 (29年卒) 先生に非常にお世話になった事を感謝します。なお、動画をホームページに掲載しました。 事務局

## 寮歌との出会い

顧問 小島 正 守 (昭和28年卒)

先日、平成28年度ホームカミングデイの催しの一つとして、「神大医学部」の発祥点である「兵庫県立医科大学予科」の寮歌を、学生さんたちに聞かせようという試みに参加しました。当日、参加者が総勢僅か5名、一番若い人でも87歳だと聞き、会場に声が届くかなと心配しました。しかし歌い出してみると、期せずして途中から曲に合わせて手拍子が起こってきたのを聞いて、先ずは成功だったかなと思いきや安心していません。所が事務方の撮影したビデオ録音を聞き、全員の歌の下手さに耳を塞ぎたくなる感を覚えウンザリしています。歌合わせ無しの、ぶっつけ本番のこともあります。年齢は隠せませんね。お聞き頂いた皆様にお詫び申し上げます。あの手拍子は元気を促す手拍子だったのでしょね。今の学生さんから見れば、医大予科とか寮歌とか言っても全く聞きなれない言葉だろうと思います。私は数え年88歳、俗に米寿と呼ばれる老人です。多感な小中学生時代を戦争一色で過ごし、軍国主義に完全に洗脳されて成長しました(旧制中学3年生では授業がなくなり、「学徒動員」の美名?のもと尼崎の軍需工場で旋盤工として高射砲弾丸の信管部分を作っていました)多分「戦争」というものの体験を語る最後の世代でしょう。と同時に、かたや戦後に驚異的な発展を遂げた日本や世界を、成人としてつぶさに実体験してきた稀有な年代人でもあります。私たち3期生は、その戦中・戦後の境界線に当たる1946年6月に、新設された「兵庫県立医科大学予科」に一年生として入学したのです(三年生・二年生はそれぞれ医専の一期生・二期生の中の大学編入希望者が入学されていました)前年の1945年8月15日、昭和天皇の終戦の玉音放送で戦争は終わりましたが、敗戦の虚脱感の中で日本の行方は不透明性を増すばかり、大学受験を控えて若者は途方に暮れていました。その時級友が耳に仕入れてきたニュースが第70連隊跡(戦前から篠山町の郊外にあった軍隊)に「大学予科ができる」でした。私は生粋の「丹波篠山」育ちで、戦後の混乱期に地元受験ができる幸運に恵まれました。戦後初の入試で医系の倍率は

凄く最高28倍、神戸でも10倍以上あったと思います。4修(旧制中学は本来5年制、人手不足で1945年春4年制となり終戦と共に5年制に復帰)の腕試しに受験した医大予科に補欠繰り上げながらも合格、しかも全寮制(所属は南寮)にも拘わらず寮の食糧事情を理由に自宅通学が認められました。戦時中は軍歌しか歌えなかった軍国少年が、希望を夢見、青春を謳歌する寮歌に巡り合えたのです。予科では寮経験が無くコンパ位でしか歌いませんでしたが、後年神戸市垂水区で内科を開業して2期生の故黒田政重先生と意気投合し(垂水神緑会・神戸神緑会共に会長・副会長コンビ)ポートピアでの神戸青春寮歌コンサート等に誘われ20回近く二人で大声を出しに行ったことを思い出します。戦後日本に70年もの平和をもたらし、米寿まで大病も無く生かしてくれた幸運の寮歌を、今日も立入禁止にした自室や浴室で独演することにします。長い老人の戯言失礼御免!



寮歌披露 下奥 仁先生



寮歌の紹介と熱演される小島正守先生、下奥 仁先生、坂井昌武先生、是枝哲也先生

## 第4回YIA（学内若手教員、大学院生などの ポスター形式の発表会）と表彰



医学部長 的崎 尚先生



神緑会会長 前田 盛先生



司会 青井貴之先生



講演 河野誠司先生



講演 寺島俊雄名誉教授



医学科長 横崎 宏先生



第3回 YIA 最優秀賞受賞者  
横山諒一さん（学生）



ホームカミングデイ司会  
平井みどり先生



YIA 実行委員長 勝二郁夫先生



第4回 YIA 最優秀賞 柳田匡彦先生



YIA 優秀賞受賞者10名

## ホームカミングデイと神田知二郎石碑の修復

ホームカミングデイ開催は、学長からの呼びかけに従って第11回が開催されました。

重点学年は、卒後50周年、45周年、40周年などで、卒年では、昭和26年、31年、36年、41年、46年など、6と1の学年が対象でした。ただ、土曜日の午前での本部式典、午後は各学部での講演会などが行われました。ただ、土曜日は働く人も多い医師の場合の対応として、各学年のクラス代表には、仮に学内に結集できない場合でも学外での記念の同窓会の開催を呼びかけました。その結果、かなりの学年での同窓会開催が実現しました。

神田氏石碑の上段部分の三文字「活人心」は、かなり以前より剥げ落ちていました。更に移設時のトラブルで亀裂が入り、接着剤で補修されていました。

石の性質から完全な補修とはなりませんでしたが、かなり本来の状態に戻ったと思います。



「故医学士神田知二郎君記念之碑」上方三文字（活人心）修復

先生の良きパートナーでありたいー  
私たちはそのために頑張ります。

ジェネリック医薬品

ワクチン・衛生材料

医療機器・調剤機器

カード事業（JAPAN DOCTOR'S CARD）

生命保険・損害保険

医業経営コンサルティング

リネン・医療用寝具リース

医療用食品・食器・厨房機器

### 神戸医師協同組合

本部 神戸市中央区神若通3丁目2番15号  
TEL 078(241) 8995番 FAX 078(231) 0910

ホームページアドレス <http://www.kobe-ishikyo.or.jp>

神戸事業所 TEL 078(241)8991番(代) FAX 078(242)8251  
尼崎事業所 TEL 06(6438)2561番(代) FAX 06(6438)2339  
明石事業所 TEL 078(936)3535番(代) FAX 078(936)3349  
姫路事業所 TEL 079(239)5725番(代) FAX 079(239)2513  
西神事業所 TEL 078(795)6612番(代) FAX 078(795)7084

## 厚生労働省関係者による講演会プログラム

日時：平成28年8月10日（水）15:00～18:00

場所：神戸大学医学部会館 シスメックスホール

開会挨拶（15:00～）

大学院医学研究科長 的崎 尚

第1部講演（15:05～16:50）

司会：放射線腫瘍科特命教授 佐々木 良平

1 「厚生労働省の企画法令係の仕事」

厚生労働省 医政局 総務課 企画法令係 主査 吉田 賢

2 「蚊媒介感染症に対する国の取り組み（仮）」

厚生労働省 健康局 難病対策課（結核感染症課併任）主査 川田 裕美

3 「ロタウイルスワクチンの定期接種化について（仮）」

厚生労働省 健康局 健康課 予防接種室 医療調整係長 佐々木 康輔

4 「公認心理師制度の現状と今後の予定について」

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課  
（公認心理師制度推進室併任）主査 松本 千寿

5 「医療機器行政に係る最近の動向について（仮）」

厚生労働省 医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課  
先進医療機器審査調整官 小西 明英

6 「医薬基盤・健康・栄養研究所について（仮）」

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 開発振興部長／創薬  
デザイン研究センター副センター長 永田 充生

7 「放射線の健康管理・健康不安対策」

環境省 総合環境政策局 環境保健部 放射線健康管理担当参事官 前田 光哉

第2部講演（17:00～18:00）

座長：兵庫県健康福祉部 医監 山本 光昭

○ 「医学教育・大学病院の目から見た今後の医療・地域包括ケアの展望」

文部科学省 高等教育局 医学教育課 企画官 佐々木 昌弘

閉会挨拶（18:00～）

医学部附属病院長 藤澤 正人

情報交換会（18:10～19:00） 於：神緑会館多目的ホール

内容の紹介は、順次行います。

# 放射線の健康管理・健康不安対策

環境省総合環境政策局環境保健部

放射線健康管理担当参事官 前田光哉（平成4年卒）

## 1. 背景・避難指示の状況

平成23年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故により、周辺地域の住民の被ばく線量の把握や、放射線の健康影響を考慮した健康管理の重要性が指摘されました。そこで、中長期にわたる福島県の住民の健康管理に全面的に支援するとともに、これに附随する健康不安対策を行っています。

平成23年3月に原発事故が発生し、避難指示区域（半径20km圏内）、屋内退避指示区域（半径20～30km圏内）が設定されました。その後、平成23年4月には、警戒区域（半径20km圏内）、計画的避難区域（放射線量が20mSv/年を超える区域；対象11市町村）、緊急時避難準備区域（半径30km圏内）が設定されました。

最近、避難指示区域の解除が進んでいます。（平成26年4月：田村市、平成26年10月：川内村（一部）、平成27年9月：楢葉町、平成28年6月：葛尾村（帰還困難区域除く）、平成28年6月：川内村（全村）、平成28年7月：南相馬市（帰還困難区域除く））

## 2. 住民の健康管理の取組

### (1) 福島県民健康管理基金

福島県は、原子力災害から住民の健康を確保するのに必要な事業を中長期的に実施するための基金として、福島県民健康管理基金を創設し、国は福島県民健康管理基金に、交付金を拠出（782億円）し、専門的知見に基づく助言を行っています。

この基金により、福島県は、県民健康調査事業と安心・リスクコミュニケーション事業を実施しています。県民健康調査事業では、「基本調査」として、全県民（約205万人）を対象とした震災後4か月間の外部被ばく線量の推計・把握を行っています。また、「詳細調査」として、甲状腺検査、健康診査：避難住民等を対象とした健康状態を把握、こころの健康度・生活習慣に関する調査、妊産婦に関する調査を行っています。安心・リスクコミュニケーション事業では、子どもや妊婦に対する個人線量計の貸

与、ホールボディ・カウンタの整備など検査体制の強化を行っています。

### (2) 福島県の住民の外部被ばく線量推計

県民健康調査の「基本調査」として実施しています。全県民を対象に事故後4か月間の外部被ばく線量を推計し、詳細調査や県民各個人の健康管理における基礎資料としています。具体的には、問診票（4か月間の行動記録）への回答を踏まえ、その行動パターンと線量率マップから、各個人の外部被ばく線量を推計しています。これまで約46万人の推計が終了した結果、99.8%が5 mSv未滿、99.9%以上が10mSv未滿でした。この結果について福島県が開催する委員会の中で、専門家からは、「放射線による健康影響があるとは考えにくい」と評価されています。

### (3) 福島県におけるホールボディ・カウンタの測定状況

環境モニタリングの結果等から、他の地域に比べ外部及び内部被ばく量が高い可能性がある地域（川俣町山木屋地区、飯舘村、浪江町）や避難区域等の住民に対して、平成23年6月27日からホールボディ・カウンタ（WBC）による内部被ばく検査を開始しました。その後、順次対象地区を拡大し、平成28年5月31日までに286,245名を実施しました。セッション134及び137による預託実効線量が99.9%以上が1 mSv未滿、最大でも3.5mSv未滿であり、全員とも健康に影響が及ぶ数値ではなかったとされています。

### (4) 福島県による甲状腺検査（平成23年10月～）

チェルノブイリ原発事故では事故の4～5年後に小児甲状腺がんの発生が報告されたため、子どもたちの甲状腺への放射線の影響が心配されています。そのため、現時点での甲状腺の状況を把握するとともに、子どもたちの健康を長期に見守るために、本人や保護者の皆様に安心していただくため、福島県が、県民健康調査の一環として甲状腺検査を実施しています。

対象者は、平成23～25年度に実施した先行検査で

は、平成23年3月11日に概ね18歳以下だった全県民約37万人（県外避難者も含む）でした。平成26年度以降、本格検査として実施し、被災時胎児であった者等を追加し、対象人数は計約38万人になっています。2年間で全員に2巡目を実施し、以後20歳まで2年に1回、以降5年に1回実施予定です。最新の結果は表のとおりです。

### 3. 健康不安対策に係る主な事業

環境省は、平成27年2月の基本方針に基づき、リスクコミュニケーション事業を継続・充実させることとしており、以下の取組を行っています。

1. 放射線による健康影響等に関する資料の作成
2. 放射線による健康不安の軽減等に資する人材育成事業
  - ・放射線による健康影響に関する住民対応を行う人材（保健医療関係者、教育関係者）の育成
  - ・住民対応を行う人材に助言を行うコーチ育成、コーチフォローアップ研修
  - ・各自治体のニーズに応じた研修会
3. 住民向けセミナー及び住民参加型プログラム（車座集會）
4. 継続的なりスクコミュニケーションのモデル事業

- ・福島県内2か所（川内村、浪江町）に大学の保健師などが常駐し住民の健康不安に対応
- 5. 放射線による健康影響等に関するポータルサイトの運営  
(<http://www.env.go.jp/chemi/rhm/portal/>)
- 6. 放射線影響に関する相談員の支援拠点の運営

### 4. 今後の課題

現在のところ、避難指示解除準備区域及び居住制限区域の解除が平成28年度末までに完了する予定です。今後、これまで避難指示が解除された区域に比べ、より高い空間線量の区域の避難指示が解除されることが想定されています。これら避難指示解除準備区域、居住制限区域の避難指示の解除に伴い、帰還する者の増加が見込まれることから、健康不安対策等の対応についても充実・強化が不可欠です。

次に、県民健康調査の甲状腺検査の対象である事故当初、0～18歳であった方は、6～24歳となり、進学・就職などにより県外に転出する方の増加が見込まれ、県外での検査体制の充実が必要となってきます。

さらに、WHO（世界保健機関）、UNSCEAR（原子放射線の影響に関する国連科学委員会）など、国際機関によるフォローアップの動きが活発化することが予想され、日本としてデータを提供することが必要となります。

福島県県民健康調査 甲状腺検査					
一次検査及び二次検査実施状況 結果確定（H28年3月末）分まで		一巡目（先行検査） （平成23～25年度）		二巡目（本格検査） （平成26～27年度）	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
検査対象者数				約38.5万人 (含事故時胎児)	
		367,672人	100.0	うち、H27年度等 381,286人	100.0
一次検査受診者数		300,476人	81.7	267,769人	70.2
一次検査結果判定数		300,476人	100.0	256,670人	95.9
判定結果	判定内容	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
異常なし	(A1) 結節やのう胞を認めなかったもの	154,607	51.5	102,870	40.1
	(A2) 5.0mm以下の結節や20.0mm以下ののう胞を認めたもの	143,575	47.8	151,739	59.1
			99.2		99.2
要二次検査	B判定 5.1mm以上の結節や20.1mm以上ののう胞を認めたもの	2,293	0.8	2,061	0.8
	C判定 甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要するもの	1	0.0	0	0.0
二次検査対象者数 (B判定+C判定) ア		2,294	100.0	2,061	100.0
二次検査受診者数 イ(イ/ア)		2,128	92.8	1,345	65.3
二次検査判定数 ウ(ウ/イ)		2,086	98.0	1,242	92.3
			116 ( 101 / 14 / 1 )		57 ( 30 / 27 / 0 )

## 75・150周年記念事業の進捗状況と新しい寄付条件のご紹介

改めて申し上げる必要もないが、50周年記念事業で同窓会館の建設を医学部・神緑会が提案した時（平成6年）は多くの賛同を得た。阪神・淡路大震災のため、建設は平成13年となったが、広厳寺境内から神田知二郎石碑を移設し、ご遺族より300名に及ぶ学籍簿を提供いただいたことにより、明治2年の神戸病院の4枚の写真だけでなく、実態を実感できた。

50周年記念事業では、共同研究館の改修と寄付建物の建設が自己努力と評価され、動物舎の移設と、基礎2棟を含む耐震全面改修に進み、学内のすべての建物が新しくなった。

2回に及ぶ募金活動が行われたため、本来は、平成26年とされる70周年記念事業の開始が少し遅れたが、平成28年12月より医学研究科・神緑会の連携により「75・150周年記念事業」として進められている。神戸市は開港150周年として平成29年に多くの記念事業を予定し、兵庫県も平成30年に開港150周年にふさわしい事業を各職員が検討するように知事から指示されている。

基金納入分すべてが医学研究科のみの使用となります。

9月末現在で、神緑会会員分は1070万円の寄付です。（総額6035万円）

50周年に準じて、各クラス会、各支部におかれましては積極的ご協力をお願いします。

### ご寄附のお願い

神戸大学医学部創立75周年  
神戸病院創立150周年記念事業

皆様からの温かいご支援  
お待ちしております



平成31年(2019年)に  
神戸大学医学部は創立75周年  
神戸病院は創立150周年  
を迎えます!



◀明治2年に開院した  
神戸病院



現在の神戸大学大学院  
医学研究科・  
医学部附属病院▶

平素より、神戸大学大学院医学研究科・医学部医学科の活動に、温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。神戸大学大学院医学研究科・医学部医学科は昭和19年設立の兵庫県立医学専門学校を母体とし、兵庫県立医科大学（昭和21年）、兵庫県立神戸医科大学（昭和27年）を経て、昭和39年に国立に移管され神戸大学医学部となり、現在は国立大学法人として教育・研究・診療活動を進めております。来る平成31年は、神戸大学大学院医学研究科・医学部医学科の前身である兵庫県立医学専門学校の創立から75周年にあたり、また、兵庫県立医学専門学校の創設母体となった神戸病院設立（明治2年）からは、150周年にあたります。この慶賀すべき節目の年を迎えるにあたり、神戸大学大学院医学研究科ならびに医学部附属病院は、一般社団法人神緑会の全面的な協力を得て、記念事業を行うことと致しました。

## ご寄附の申込み方法

### 申込方法

#### ● 本学指定の払込取扱票によるご寄附

払込取扱票に必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行・郵便局または払込取扱票に記載の銀行(4銀行)本支店間では振込手数料はかかりません。なお金融機関の窓口で10万円を超える現金振込みを行う場合は、振込みをされる方の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポート等)の提示が必要となります。

#### ● インターネットからのご寄附

本記念事業ホームページからお申し込みいただけます。クレジットカード決済、インターネットバンキング、銀行振込のいずれかをお選びください。※詳細は下記アドレスにアクセスください。

神戸大学 医学研究科・医学部  
<http://www.med.kobe-u.ac.jp/>

### 税法上の優遇措置

本記念事業へのご寄附に対しましては、税法上の優遇措置を受けることができます。

#### ● 所得税の優遇措置

寄附金額から2千円を除いた額について所得控除を受けることができます。(寄附金の合計額が総所得金額の40%)

#### ● 寄附金控除額の計算方法

[例] 給与収入700万円・課税所得400万円の夫婦2人の世帯が10万円寄附した場合

寄附金額 10万円	
2千円(寄附金控除の対象外)	寄附金控除対象額 9万8千円
上記モデルケースの場合に還付される所得税の目安98,000円×税率20% = 19,600円	

課税所得金額に対する還付される所得税の目安(10万円ご寄附いただいた場合)		所得税の税額	
課税所得金額		課税される所得金額	税率
400万円	600万円	195万円以下	5%
600万円	800万円	195万円を超え 330万円以下	10%
800万円	1,000万円	330万円を超え 695万円以下	20%
1,000万円	2,000万円	695万円を超え 900万円以下	22%
2,000万円		900万円を超え 1,800万円以下	33%
19,600円	19,600円	1,800万円を超え 4,000万円以下	40%
22,540円	32,340円	4,000万円を超え	45%
32,340円	39,200円		

## 記念事業アクションプラン

### ● 未来医療開発研究センター(仮称)の設置

近年、大学医学部には基礎研究のみならず、質の高い臨床研究の推進による大学発の医療の創造・発信が強く求められております。現在、本医学研究科と附属病院では、創薬など臨床応用を目指した基礎医学研究の推進と、その成果をいち早く臨床の場に届けるための臨床研究中核病院としての承認を得る事が最重要課題であります。その目的達成のためにも、新たに未来医療開発研究センター(仮称)の設置を計画しております。本センターの建設には約10億円に上る多額の資金が必要であり、国あるいは県に予算要求を行う予定です。しかし、事業採択にあたっては大学の自助努力による応分の経費負担が求められることが通例であり、本事業の場合少なくとも約4億円の自己負担が必要になると見込まれます。

### ● 人材支援のための奨学基金の創設

医学部学生の教育環境の充実の目的で、医学分館及び学生福利厚生施設などの改修に約1億円、「世界レベルの研究者を志す人材支援のための奨学基金」(仮称)の創設にかかる資金として約2000万円を本事業から供出したいと考えております。

### ● 記念誌の編纂

平成6年の神戸大学医学部創立50周年記念事業として、神戸病院や兵庫県立医学専門学校の発足以来の貴重な歴史的資料が多く収集され、神戸大学医学部50年史が編纂されました。今回の大きな節目の年に、神戸大学医学部医学科創立75周年・神戸病院創立150周年記念誌(仮称)の編纂も計画しております。

### ● 神戸市個人市民税の優遇措置

神戸大学は、神戸市市税条例により指定を受けていますので、本記念事業に寄附した翌年の1月1日に神戸市にお住まいの方は、個人市民税の税額控除を受けることができます。

寄附金額から2千円を除いた額に6%を乗じた額が、寄附した翌年度の個人市民税から軽減されます。(寄附金合計額が総所得金額等の30%を上回っている場合は、総所得金額等の30%)

ご入金いただきますと「寄附金領収書」をお送りします。「寄附金領収書」は確定申告に必要となりますので、大切に保管下さい。

### 現金以外によるご寄附をお考えの方に

有価証券、不動産等の現金以外のご寄附については、記念事業事務局(TEL:078-382-5015)までご連絡ください。

### 遺贈によるご寄附をお考えの方に

大切な資産の遺贈をお考えの皆様へ、煩雑な相続手続きを代行する信託銀行をご紹介しますので、記念事業事務局(TEL:078-382-5015)までご相談ください。

- ・三井住友信託銀行
- ・三菱 UFJ 信託銀行
- ・三井住友銀行
- ・りそな銀行

### 個人情報について

ご寄附により本学が取得しました個人情報につきましては、本記念事業に関する業務のみに利用させていただきます。



— お問い合わせ先 —

神戸大学医学部創立75周年・  
 神戸病院創立150周年記念事業事務局

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1 総務課内  
 TEL : 078-382-5111(内線 5015)  
 E-Mail : kikin@med.kobe-u.ac.jp

# THE ONLY

西宮北口 新邸園創造



エントランスアプローチ完成予想図

## ダイワハウスの新築分譲マンション 「プレミスト西宮北口ザ・レジデンス」資料請求受付中

※エントランスアプローチ完成予想図は設計図書を基に描き起こしたもので、実際とは多少異なる場合があります。施工上の都合、行政諸官庁の指導等により、建物の形状、色調等が変更となる場合があります。また、雨樋、エアコン室外機等再現されていない設備があります。植栽等は特定の季節、ご入居時の状況を想定して描かれたものではありません。また、竣工時には完成予想図程度に成長しておらず、形状、位置などは実際とは多少異なる場合があります。家具・車は販売価格に含まれておりません。あらかじめご了承ください。※1 THE ONLYとは民間による分譲マンションで、阪急神戸線・今津線「西宮北口」駅最寄りかつ、阪急神戸線「北側」において、総戸数・敷地面積が過去最大であることを指しています。(平成27年9月1日現在 MRC調べ)

■物件概要●物件名称/プレミスト西宮北口ザ・レジデンス●所在地/兵庫県西宮市丸橋町92番1(地番)●交通/阪急電鉄神戸線・今津線「西宮北口」駅徒歩10分●用途地域/第1種中高層住居専用地域●敷地面積/6,193.48㎡(建築確認申請対象)●建築面積/3,007.57㎡●延床面積/13,751.23㎡●建築確認番号/第ERI15036870号(平成27年9月25日付)●構造及び階数/鉄筋コンクリート造地上7階建●総戸数/149戸(別途 ゲストルーム、オーナーズルーム(集会室)、管理事務室各1戸)●駐車台数/149台・月額使用料:5,000円~17,000円(機械式駐車場:149台)別途来客用平面駐車場2台、サービス車輛用平面駐車場1台【駐車場について】当物件の全50タイプのうち、30タイプについては駐車場優先選択権を設定しております。詳しくは担当者へお問い合わせください。●バイク置場/バイク置場5台・月額使用料:2,000円、ミニバイク置場6台・月額使用料:1,000円●自転車置場/298台・月額使用料:100円~400円(平面式15台、2段ラック式245台、傾斜ラック式38台)●完成予定/平成29年2月中旬●入居予定/平成29年4月上旬●事業主/売主/大和ハウス工業株式会社 本店マンション事業部●販売代理/日本住宅流通株式会社 大阪本店マンション販売営業部/〒530-0001大阪市北区梅田1丁目1番3-800号(大阪駅前第3ビル8階)、TEL:06-7670-2647、宅地建物取引業者免許番号/国土交通大臣(10)第2608号、(一社)不動産流通経営協会会員、(公社)全日本不動産協会会員、(公社)日本不動産鑑定士協会連合会加盟、(公財)日本賃貸住宅管理協会会員●分譲後の権利形態/敷地は専有面積持分比率による所有権の共有、建物専有部分は区分所有、建物共用部分は専有面積持分比率による所有権の共有●管理形態/入居後、区分所有者全員により管理組合を結成し、管理組合と管理会社との間で管理委託契約を締結していただきます。●管理会社/大和ライフネクスト株式会社●施工/株式会社長谷工コーポレーション●設計/監理/株式会社長谷工コーポレーション大阪エンジニアリング事業部●基本計画/デザイン/総合監修/株式会社日建ハウジングシステム

■第1期~第2期2次先着順申込受付概要●販売戸数/30戸●販売価格(税込)/4,580万円(1戸)~8,590万円(1戸)●最多販売価格帯/5,700万円台・5,900万円台(各3戸)●間取り/2LDK・3LDK・4LDK●住居専有面積/65.05㎡~105.10㎡※表示面積は標準面積ですので、登記面積はこれよりも少なくなります。●バルコニー面積/2.01㎡~33.50㎡●サービスバルコニー面積/1.59㎡~4.85㎡●ポーチ面積/2.75㎡~11.18㎡●アールコブ面積/2.27㎡~5.66㎡●ルーフトバルコニー面積/24.73㎡~35.43㎡●月額使用料:1,100円・1,500円●専用庭面積/7.96㎡~10.62㎡・月額使用料:400円●テラス面積/9.46㎡~13.58㎡●管理費(月額)/8,100円~13,100円●修繕積立金(月額)/7,600円~12,300円●管理準備金(一括)/16,200円~26,200円●修繕積立金(一括)/532,000円~861,000円●取引条件有効期限/平成28年12月31日●広告作成年月日/平成28年11月7日

■第1期~第2期2次先着順申込受付場所/プレミスト西宮北口ザ・レジデンスマンションギャラリー●申込の際にお持ちいただくもの/印鑑、ご本人様確認資料(運転免許証等)平成27年の所得を証明するもの※詳しくは係員までお問合せください。※先着順につきご希望住戸が売却済の場合がございます。あらかじめご了承ください。

【お知らせ】平成27年10月9日より平成28年9月14日まで実施した広告において、入居時期を平成29年3月下旬としておりましたが、平成28年9月24日以降にご契約をされたお客様については、入居予定期間を平成29年4月上旬に変更させていただきます。

お問い合わせ・ご予約は  
「プレミスト西宮北口ザ・レジデンス」  
マンションギャラリー

0120-149-921

営業時間/10:00am~6:00pm(水曜定休)※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

ダイワ 西宮北口 検索

<http://dhms.jp/nishinomiyakitaguchi/>

(事業主/売主)

大和ハウス工業株式会社 本店マンション事業部

大阪市北区梅田3丁目3番5号 〒530-8241

Tel 06-6342-0991 Fax 06-6342-0907

建設業許可番号 国土交通大臣許可(特-27)第5279号 宅地建物取引業者免許番号 国土交通大臣(14)第245号

(一社)大阪府宅地建物取引業協会会員/(一社)不動産協会会員/(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟

[www.daiwahouse.co.jp](http://www.daiwahouse.co.jp)



Daiwa House

大和ハウスグループ

## 平成28年度 広報・Web 会費委員会議事概要

1. 開催日時 平成28年9月24日午後3時～午後5時30分
2. 開催場所 神緑会館 研修室（神戸大学医学部内）
3. 出席者 委員長 中野 康治  
委員 前田 盛 宮本 正喜 岡村 雅雄 大竹 邦夫 秋末 敏宏  
梶田 明義 矢野 嘉彦 池田 太郎 青井 貴之
4. 議長 中野 康治
5. 審議事項
  - (1)会報（ニュースレター・学術誌等）の発行及び配布について
  - (2)会費増収対策について
6. 議事経過（各委員の意見）
  - (1)紙媒体での広報がネットによる広報への移行については過渡期である。  
この時期は既に十数年に渡るし、今後もどの位の期間がかかるかわからないが、引き続き過渡期として全員広報に務める。
    - ①立派すぎるので質を落とすこと（量と紙質など）を考える。
    - ②費用面での問題はあるが、会費支払いと広報紙の配布とはできれば関係させない。
    - ③内容についてグルメ情報や訃報など広範囲で時宜を得た広報に務める。
    - ④広告について現在掲載されていない分野の開拓に務める。（グルメ関連・自動車関連の広告の拡大も視野に入れる）
    - ⑤アンケート方式で紙媒体かネット配信等について意見を求め、要望の整理に務める。
  - (2)学術誌について
    - ①従来の通り紙ベースでの発行、配布に務める。
    - ②ホームページに学術誌のアップの検討を考えて欲しい。  
(注) 現状、神戸大学附属図書館で電子ライブラリー・医学中央雑誌にアップされ検索ができる（但し全頁ではない）  
・ニュースレターもホームページにアップされている（一部除外）
  - (3)ニュースレターについて
    - ①媒体は原則として全てペーパーレス（WEB）にすべきであるが現状は過渡期であり紙ベースでの発行が必要である。  
なお、ペーパーレスには会員の50%がWEB対応できる状況が重要である。（メールアドレス登録数の増加を図る必要あり）  
(注) 登録数の増加策としてメールアドレスの収集について各学年別に理事・クラス代表を通じて徹底する。  
またWEBのコンテンツが重要である。
      - ・現在ホームページの活用推進については、神戸大学関係案内文、新聞記事及び神戸大学関連病院・会員の病院、診療所のリンクを掲載しており新規登録（URL登録）を進めている。
      - ・健康相談・Q & A等のコンテンツも閲覧者の増加につながる。
    - ②発行、配布方法について社員に紙ベースを送付し、未入会者にメールマガジンに添付ファイルで配布する方法もある。
    - ③媒体としてベテランの年代には紙ベース、若い年代には電子媒体を使用して配布する方法がある。（年代を決めて配布する）
    - ④媒体（紙ORデジタル）を会員の希望により選択できるようにすべきである。（紙ベースはいらぬ人もいる）
    - ⑤メールマガジンに力を入れるべきである。
    - ⑥新聞形式（ミニ新聞）での発行（発行費用等の削減）も考えてもよいのではないか。
  - (2)会費増収対策について  
過去に運営協力金として寄附の依頼を実施したことがあり、今後理事会で検討を行う。

## 広報・Web 委員会の答申を受けて当面の神緑会の運営

最近の神緑会の特徴は、平成卒学年の増加に対しての取り組みです。年齢が高くなるにつれて同窓会が毎年開催され、母校そのものは別に、友人と会うことにある種の郷愁に似た感慨が生まれます。ただ、そうだけ

ら、同窓生が大切と言われてもその年齢に達するまでは卒業何十年も同窓会が開催されないなどの問題点が起きます。

1. 年会費免除者に対し、寄附の協力を依頼する。
2. 広報活動（ニューズレター発行）を改善する。  
媒体を紙面からWEBへの移行を推進する。  
但し、現状はWEBへ移行の過渡期と考えその対応、準備をする。
  - ①未入会者及び会費滞納者への広報活動は、並行して会費納入の依頼をする。
  - ②媒体の選択をアンケートし、早期に推進する（ネット対応への移行希望者の確認及び移行準備）
3. 研究助成その他の神緑会事業を75・150周年記念事業へ移行するよう、大学に働きかける（若手人材育成）
4. 新しい寄附制度への協力を広く要請する。（目標300万円/年・田中賞の継続にも必須）
5. その他、総会その他の費用の節約に努める。

## 一般社団法人神緑会 寄附金等取扱規則

（目的）

**第1条** この規則は、一般社団法人神緑会（以下「この法人」という。）が寄附者から金銭又はその他の財産（以下「寄附金等」という。）の給付を受ける場合の取扱いについて定め、もって財産の適正な管理等に資することを目的とする。

（定義）

**第2条** この規則において寄附金とは、寄附者がこの法人が行う事業等に要する経費に充てるため、反対給付を受けることなく（免税対象などでないこと）給付する金銭をいう。

2 この規則においてその他の財産とは、寄附者がこの法人が行う事業等の実施に使用するため、反対給付を受けることなく給付する固定資産等で金銭以外のものをいう。

（寄附申入れの事務手続）

**第3条** 寄附者からこの法人に対し寄附の申入れがあったときは、寄附内容（寄附金又はその他の財産）を確認しなければならない。

2 前項の寄附の申入れを受ける場合には、会長又は理事会（重要な財産の場合）の承認を得なければならない。

3 寄附の申入れを受けることとなったときは、当該寄附者に連絡するとともに、書面により寄附の申入れを受けるものとする。

4 前項の書面には、次のような事項を記載する。

- ① 寄附者の住所・氏名
- ② 寄附金の額・金銭の種類（現金・有価証券その他）
- ③ 寄附されるその他の財産の種類・量等
- ④ 寄附金については、その用途を限定しない一般寄附金、又はその用途が特別に指定されている特定寄附金の区分を記載する。
- ⑤ その他必要事項

5 寄附金等を受領したときは、寄附者に対し受領書を発行するとともに、学術誌又はニューズレターにおける公表などの方法により感謝の意思表示を行うものとする。

（寄附金の会計処理手続）

**第4条** 寄附金を受け入れたときは、寄附者の意思に従い本条各項のとおり処理する。

2 法人全体の経費を支援する寄附の場合は、法人会計の受取寄付金として処理する。

3 法人の実施事業全体（事業費）を支援する寄附の場合は、事業費の受取寄付金として各事業に按分する。

4 法人の事業のうち、その1つを支援する寄附の場合は、各事業の区分会計における受取寄付金として処理する。

5 寄付金の収入は、貸借対照表では現金預金として一般正味財産に区分することを原則とする。但し、特に金額が大きく（概ね500万円以上）寄附者が寄附の使用目的を指定するときは、貸借対照表の指定正味財産に区分して処理する。

（寄附されたその他の財産の事務処理手続）

**第5条** 寄附された固定資産については、適切な専門家による時価評価を経て、貸借対照表の固定資産として



## 英語サロンの開催

学生や教員の海外派遣の延長とした、いよいよ、日頃からのプラクティスの場として、英語サロンを開催した。眼科学、楠原講師、精神神経医学 菱本準教授を世話人として、留学生や留学を目指す若手医師、学生に参加を呼びかけた。10月11日を第一回に月1回のペースで行います。留学間近の若手医師のトレーニングの場とします。

眼科学 楠原仙太郎



## 「先輩と語ろう会」の活動再開に向けて

－小川瑛五郎氏次男 小川昌三氏(34年卒)の「ハワイ他のアメリカでの経験」－

ハワイ在住で神戸病院長その後医学専門学校長を勤められ、学生実習用の骨格交連標本としていつまでも神戸大学医学部を見守っておられる小川瑛五郎氏の次男、小川昌三先生から有り難い連絡があり、10年以上ぶりにこの企画が動きました。実際は、神戸大学の学生3名が夏休みや長期滞在にてハワイでの医学研修に臨んだ結果、交流が行われたことがきっかけでした。「私の経験を若い人たちに伝えたい」として、10月の法事に帰国される際に開催となりました。10月4日／6日の夕方、それぞれ10数名の学生と6日には神緑会理事が参加しました。詳細は別の機会に紹介しますが、米軍病院での研修を経て、留学と再留学、ハワイでの生活や最近のオバマケアまで、多くの経験を紹介されました。他にも、

先輩方で自分の経験を学生や若手医師に紹介される希望者を募集します。 理事会



もう半世紀すこやかに

SunCity

# モデルルーム 見学受付中

## 2017年6月 入居開始予定

HAT神戸に  
新しい高齢者マンション  
「サンシティ」始まる。

将来、常時介護が必要になられた時はもちろん、  
一時的なご病気の時も介護・看護いたします。

**入居時自立** 介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）

# サンシティタワー神戸

完成予想イメージ

掲載の完成予想図は図面に基に描き起こしたもので、実際とは多少異なります。

土地建物の権利形態 / 事業主体非所有

## サンシティには“老後はこうありたい”と願う生活があります。

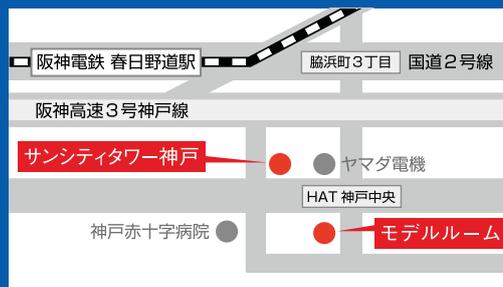
「サンシティタワー神戸」に  
関するお問い合わせ

☎ 0120-33-1655

資料請求も承っておりますので、お気軽にお電話ください。

モデルルーム所在地 / 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-1

「サンシティタワー神戸」概要 所在地/神戸市中央区脇浜海岸通2丁目3番5号 ●敷地面積/12,431㎡ ●建築面積/5,861㎡ ●延床面積/57,967㎡ ●構造規模/RC造（一部S造）、地上35階 ●土地・建物の権利形態/事業主体非所有 ●事業主体・運営管理/（株）ハーフ・センチュリー・モア ●返還金制度/あり/神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示事項 ●類型/介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護 申請中） ●居住の権利形態/利用権方式 ●利用料の支払い方式/一時金方式 ●入居時の要件/入居時自立、原則満65歳以上の方 ●介護保険/神戸市（兵庫県）指定介護保険特定施設、神戸市（兵庫県）指定介護予防特定施設 ●介護居室区分/全室個室 ●介護にかかわる職員体制/1.5:1以上【平成29年6月予定】 ※施設概要の内容は予定であり、変更が生じる場合がございますのでご了承ください。



（株）ハーフ・センチュリー・モアは大手企業約100社が出資する資本金120億円で、借入金のない会社です。

もう半世紀すこやかに  
株式会社 ハーフ・センチュリー・モア

〒107-6030 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル30階

☎ 0120-77-5088 TEL. 03-3505-6688 FAX. 03-3505-6198

www.hcm-suncity.jp

- 主な出資企業 -

三井住友銀行・みずほ銀行・三菱東京UFJ銀行・西日本旅客鉄道・三洋電機（パナソニック）・塩野義製薬・ダイキン工業・ヤンマー・江崎グリコ ほか

## PORTOPIA HOTEL



## Hospitality & MICE

国際都市・神戸のリーディングホテルとして  
これからも信頼とサービス  
をお届けしてまいります。

- ポートピアホール1,702席 スクール形式610席  
(6カ国語同時通訳設備 コンサートホール対応)
- 宴会場36室 屋外・屋内チャペル、神式場
- 客室744室 ■高速LAN全館完備
- ゲストサービスサロン
- エグゼクティブフロア「オーバルクラブ」
- レストラン&バー など12店
- 室内・屋外プール テニスコート ジム サウナ
- エステティックサロン ショッピングアーケード
- 駐車場450台収容
- 「三宮」「新神戸」とホテルを結ぶ  
シャトルバス(無料)20分に1本運行中

ご予約・お問い合わせは…

Tel.078-302-1111

神戸コンベンションコンソーシアム/構成団体

ポートピアホテル

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10番地1  
ホームページ <http://www.portopia.co.jp>

### 支部長会開催報告

ホームカミング日の夕方、時間をせかさされる中で、「支部長会」を開催しました。中央区、須磨区、垂水区等の神戸神緑会、芦屋、加古川などの出席で意見交換しました。平成23年度からの一般社団法人への移行により、支部が正式な社団法人の構成内に位置づけて、本部・支部の交流となりました。各支部におかれましても若手医師の結集が難しいことが報告されました。記念事業の寄付額の基準などについて、神戸大学の考え方などをご紹介し、引き続きの交流を図ることにしました。

### 編集後記

前号では、学術誌と平行して多くの情報をお届けしました。今回は、ホームカミングデイ、大倉山祭等の学生活動をお届けします。なかでも、篠山時代の予科・寮歌の再現は年齢的にも最後の機会として実現しました。ホームページにも動画をアップしましたので是非ご覧下さい。平井の梅記念碑の神緑会会館内移設、神田氏記念碑の修復も記念事業の一貫としてご覧下さい。なお、ページ数の抑制から姫路工大医進課程での原稿は一部、次号回しとなりました。引き続き、姫路関連の原稿をお待ちします。

広報誌の充実は、他大学で「大変立派な同窓会誌」と評価された一方で、未入会や会費未納者にも送附する財政負担を随分以前から指摘され、どこかで整理する予定が、新たな難問、平成卒者の神緑会離れへの対応からここに至りました。記念事業実施中でもあり、総体として皆さんのご理解が進むよう御願います。

編集委員会

### 神緑会ニュースレター 第8巻第3号

発行 一般社団法人神緑会  
会長 前田 盛  
〒650-0017  
神戸市中央区楠町7丁目5-1  
神戸大学医学部内  
TEL (078)361-0616  
FAX (078)361-0617  
sinryoku@med.kobe-u.ac.jp

印刷 交友印刷株式会社  
〒650-0047  
神戸市中央区港島5丁目4-8  
TEL (078)303-0088  
FAX (078)303-1320  
info@koyu-p.co.jp